

令和元年11月12日

「行財政改革における見直しの考え」に係る意見募集  
(パブリック・コメント)の実施結果について

企画財政部行政経営課

令和元年8月19日から令和元年9月18日にかけて行った標記の意見募集について、結果は以下のとおりです。ご意見いただき誠にありがとうございました。

1. 実施方法

- (1) 募集期間：令和元年8月19日(月)～令和元年9月18日(水)
- (2) 募集方法：電子メール、郵送、FAX、持参
- (3) 対象者：市内に住所を有する方、市内に通勤又は通学されている方、その他この見直しの考えに関し関係を有する方(市内で事業を営む方など)
- (4) 資料の閲覧場所：船橋市ホームページ  
船橋市役所本庁舎(行政経営課、行政資料室)  
船橋駅前総合窓口センター  
各出張所  
各公民館

2. 意見総数：145件  
(意見内訳)

民間活力の活用に関する意見数	96件 (青少年キャンプ場に関する意見：81件)
事業の見直しに関する意見数	44件 (ひとり暮らし高齢者入浴料補助費に関する意見：21件) (町の美化推進費に関する意見：7件)
使用料等の見直しに関する意見数	12件
その他意見数	23件

※1件の意見の中で複数分野にわたる意見があるため、意見総数と一致しません。

## 寄せられたご意見の概要及びご意見に対する市の考え方

※ご意見の全体像が分かるように代表的なご意見を抽出し、整理しております。

No.	寄せられたご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	<p>(民間活力の活用 ※青少年キャンプ場に関するご意見) . . . . . 81 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発されていないありのままの自然の中でキャンプがしたい。</li> <li>・便利で小綺麗なキャンプ場が増えてきて、自然のままの森の中でキャンプができるキャンプ場は逆に貴重。</li> <li>・部分的にでも現在のようなキャンプ場・野外活動が行える場所を残してもらいたい。</li> <li>・オートキャンプ場化により、キャンプ場のマナーが悪化する。</li> <li>・施設をレジャー化してしまう事は、自然破壊や渋滞発生、騒音等について懸念が生じる。</li> <li>・申請だけのために、平日昼間に休暇をとり市役所まで出向く必要があり、手続きを改善するだけで、利用率の向上が見込める。</li> <li>・現行の設備及び環境維持のために、無料ではなく施設利用料を徴収してもよい。</li> <li>・一般利用者の受け入れの拡大には、トイレの水洗化や入浴施設「ふなばしメグspa」との連携も有効だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年キャンプ場については、青少年教育施設としての活用を基本として、一般利用者の受け入れや自主事業の充実を図ることにより、より多くの利用者が貴重な自然を体験できる施設にしていきたいと考えております。</li> <li>・利用者の拡大に伴うマナーの悪化や騒音等の諸問題に関して、対策を検討してまいります。</li> <li>・利用者の利便性向上のため、申請のオンライン化や既存施設の改修等について、検討してまいります。</li> </ul>
2	<p>(民間活力の活用) . . . . . 15 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間に任せて行政をスリム化させ、無駄な公務員の人件費や公共施設の維持費を削減することは良いことだと思う。</li> <li>・福祉や子育ての施設は感情的に聖域化され直営になりがちだが、利用者のみならず多くの市民の為に今一度本当に民営化できないか考え直すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた職員の中、市民サービスの維持・向上を図るために、民間活力を活用した方がより効果的・効率的である場合には、行政と民間との適切な役割分担のもと、行政責任の確保に留意し</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働率が低い施設はやめてもよいと思う。とにかく無駄を省いて他のことに使ってほしい。</li> <li>・民間企業は利益優先であり、市民サービスを提供する施設では民間活力は活用すべきではない。</li> <li>・指定管理者制度は公務労働に非正規低賃金労働を採用して、安上がりの管理委託であり、施設の適正な管理運営に関する市職員のノウハウもなくなり、適正な管理運営予算が見積もれなくなるため、指定管理者制度の導入に反対。</li> <li>・外郭団体は民間ノウハウを持っていないため指定管理者としては民間企業を選定してほしい。</li> <li>・民間活力の活用で監視が行き届かなくなり、安全性の低下につながり不安を感じる。</li> </ul>	<p>ながら民間活力の活用を積極的に行いたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間が有する専門性や経験などを活かすことで、市民サービス向上やコスト削減効果が見込めると考えております。</li> <li>・指定管理者制度導入後であっても、市職員の管理運営のノウハウを蓄積し適正な予算を見積もれるよう対応してまいります。</li> <li>・指定管理者候補者の選定に関しては、応募団体を広く募集し、施設の特性や事業内容に応じて、最適な団体を選定しております。</li> <li>・指定管理者制度が導入された施設では適切な管理運営がなされているか、毎年度事業の評価を行い、その結果を公表しております。</li> </ul>
3	<p><b>(事業の見直し ※ひとり暮らし高齢者入浴料扶助費に関するご意見) ・21件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴は健康上とても大切なので、是非とも助成券の続行を願う。</li> <li>・お風呂は他の人々と会話ができる唯一の場所なので、今までどおり入浴券を発行してほしい。</li> <li>・コミュニケーションがとれる事も楽しみであり、助成券を廃止しないでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的は、公衆浴場等を活用して、ひとり暮らし高齢者の地域交流促進を図るものですが、公衆浴場のある地域に偏りが生じている点については、課題があると考えているため、ひとり暮</li> </ul>

	い。	らし高齢者の地域交流促進について、より効果的な実施方法について検討してまいります。
4	<p><b>(事業の見直し ※町の美化推進費に関するご意見) . . . . . 7 件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物愛護の観点から、家庭ごみと一緒に焼却すべきではない。</li> <li>・動物を物のように扱うことに反対。近隣では、独自で動物専用炉を持っていて、手数料は掛かるが、遺骨も合同埋葬してくれる市もあるので、船橋市も参考にしてほしい。</li> <li>・ペットの遺体を市で処分してもらう際の手数料の値上げは賛成だが、動物死体とごみを一緒に焼却してしまうのはどうかと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物運搬焼却業務の処理方法について、動物愛護の観点を十分考慮しながら現行の処理方法と専用炉整備に係るコスト比較などを行い、長期的な視点に立って、総合的に検討してまいります。</li> <li>・手数料につきましては、受益者負担の考えを踏まえて検討してまいります。</li> </ul>
5	<p><b>(事業の見直し) . . . . . 16 件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会であり敬老の祝金及び自治会の補助は見直し(減額)すべき。</li> <li>・敬老に関する優遇施策は他市より少なくし、削減分の10%は、子供達の未来に投資する改革に使うのも必要だと思う。</li> <li>・町会自治会への補助金や母子家庭への助成金など、市民が必要としている事業を削らないでほしい。</li> <li>・国の就学援助制度が改善されてきているが、実際の入学準備に必要な金額とはまだ格差がある。</li> <li>・行革レビューシートを読むと「イベント・事業の数があまりにも多い」そして「似たような事業やイベント」があまりにも多いという印象。</li> <li>・本来の行政改革は、まずは組織の大胆な統合だと思う。それがすぐに実現できないならば、事業やイベントを統合していく必要があり、あくまでも利用者(市民)の立場で事業を評価して欲しいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の事業は、市民サービス向上のために市の単独財源で行っているものですが、市民ニーズの多様化やサービス量の増加により年々歳出規模が増加している中で、今後、限りある財源を効果的に活用していくことが必要となります。このため、「事業本来の目的としていた効果が薄れていないか」「時代に即した事業であるか」「仕組みややり方を変えることでより高い効果を得られないか」等の意識を持って、十分精査していく必要があると考えております。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に他市との比較（横並び）を重視すると、船橋市らしい特色が失われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業の見直しの内容については引き続き丁寧に検討してまいります。</li> </ul>
6	<p><b>（使用料等の見直し）</b> . . . . . <b>12 件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者はわずかな年金だけで暮らしている。各種使用料の値上げはやめてほしい。</li> <li>・市民同士で学びあったり交流を図るために、公共施設を利用している。使用料の値上げは困る。</li> <li>・ごみ袋の値上げ、公民館、プール等の施設利用料の値上げは反対。</li> <li>・施設使用料に資本費を算入することに反対。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料等の見直しについて、今後も市が安定的なサービスを提供していくために、施設を利用する人と利用しない人、市民サービスを受ける人と受けない人の負担の公平性を確保するという視点や施設維持・サービスに要する費用、また、近隣市の状況等を確認しながら適正な使用料等の見直しを進めてまいります。</li> <li>・見直しを行う場合は、激変緩和や段階的な措置を設けるなど、市民影響に配慮した検討を行ってまいります。</li> </ul>
7	<p><b>（その他）</b> . . . . . <b>23 件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種審議会での市民委員を半数以上にするなど、「市民の声」を今以上に市政に反映する仕組みも見直してほしい。</li> <li>・経費削減をすれば市民サービスが低下し、市職員を減らせばそのしわ寄せは市民に戻る。</li> <li>・負担増をさせたお金をどこに使うのか、使い道をはっきり示してほしい。</li> <li>・行革の目標を「市民サービスの維持・向上」と掲げている。どのような「市民サービス」を、どの水準まで維持・向上させたいのか、船橋市の未来像を示してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、行財政改革を進めるにあたり、頂いたご意見を参考に、市民の皆様にご理解いただけるよう適切な手法等について検討してまいります。</li> </ul>

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 市政の担い手である市職員や行政の担い手は自らどのような改革をしているのか。その無駄をどう見ているのか、どう効率化の努力があるのかを、まず自ら示すことが重要。</li><li>・ 近年行った大規模事業の借金もありながら、行革の見直しは許せない。時間をかけて丁寧に説明し、反対が多いなら（数だけではないが）取りやめることも考えるべき。</li><li>・ 行財政改革の見直しは市民生活に直結するため、タウン・ミーティングを実施し、深く議論すべき。</li><li>・ 学校の統廃合を行うべきではないが、児童生徒数の減少地域では「現在の規模」での建物は必要ないと思う。普通建設事業費の推計が適正であるか疑問に感じる。</li><li>・ 船橋市に住んでいて良かったと感じるような政策をしてほしい。</li></ul> |  |
|---|--|